

## 北横岳・縞枯山山行報告書

(山域) 八ヶ岳連峰 北横岳・縞枯山

(コース) ロープウェイ山頂～坪庭～北横岳～縞枯山荘～縞枯山～ロープウェイ山頂

(日時) 3月14日(土曜日)

(天候) 曇り

(参加者) CL: 内堀(記録)・岸野・時田

(山行タイム) ロープウェイ山頂 9:55～北横岳ヒュッテ 10:40～北横岳 11:10～縞枯山荘 12:05  
～縞枯山 13:20～ロープウェイ山頂 14:20

(山行報告)

早朝自宅を出発して、岸野宅により蘇我駅にて時田さんを拾い、松ヶ丘ICより東関道の湾岸線から首都高・中央道に向かう、途中、断続的に車が遅くなりながら進み、団子坂SAを超えてからはスムーズに動き出す。4月以降はこの渋滞は更に進むようです。土・日曜日は6:00頃の首都高を抜けても新宿手前から渋滞が進むでしょう。八ヶ岳方面の当日発日帰りは帰りの時間を覚悟して行くしか無いようです。休憩も取らず一気に諏訪南ICで降りて、北八ヶ岳ロープウェイに到着。時計を見ると9:00、本日は少し早めに到着が出来ホッと一息する。駐車場もロッジ側に止められた。本日ついていそう。準備を済ませ、ロープウェイ乗場に向かい切符を購入。ネットから割引券を差し出すと往復200円割引となる。ロープウェイの発車時刻も10分刻みで出ていて、9:30発車のロープウェイに乗れた。到着間近の八ヶ岳は雲で覆われていたが時間とともに、少しずつ曇りが取れ、北横岳・縞枯山や蓼科山が見える。

ロープウェイ山頂は寒く、準備を整えた後、アイゼンを装着する。時計を見ると9:50頃かな。ここでまず記念撮影を済ませ、坪庭を超え北横岳に向かう。45分程度で北横岳ヒュッテに到着。



ロープウェイ山頂



北横岳ヒュッテ手前



北横岳ヒュッテ



北横岳ヒュッテ

休憩後、北横岳山頂を目指す。10分程度で北横岳南峰に到着、記念撮影後北峰に向かい撮影  
北横岳は双耳峰だというのが、南峰と北峰が近すぎますね。



北横岳南峰



北横岳北峰

記念撮影後は元の道に戻り一気に坪庭に出る。途中で分岐を左折して縞枯山荘に向かう。  
時田さんは北横岳のみと勘違いしていて、縞枯山も登ると告げると驚きと気力が下がる。  
縞枯山荘は35年前に来た思い出の場所である。建物は昔のままで老朽化が進んでいた。トイレ  
休憩を取る。山荘の中にあり、且つアイゼン・登山靴を脱がないといけない場所であった。面倒  
くさいね。

休憩後は、登山靴・アイゼンを装着して縞枯山を目指す。縞枯山分岐を過ぎると樹林帯に入り  
その樹林が覆いかぶさり、体を前屈しながら何回か進む。人の入りは北横岳に比較すると少ない  
ようである。更に進むと縞枯れ山頂に出た。山頂を表す標識は雪に埋もれていた。

数分で展望台の方から集団が見え山頂は人込みで込み合った。



縞枯山荘



縞枯山頂

記念撮影後は風があるため、少し下山した場所で休憩とする。休憩中に他のパーティが下山して  
行くのを目で追いやりながら、最後のグループはさほど急下降でもないにヘッピー腰で下山して  
いるのを間近で見てしまった。時田さんは初めてのアイゼン装着（前回の大菩薩は軽アイゼン）  
し雪山体験が出来たようで、楽しそうであった。アイゼンも引掛けることもなく難なく歩行が  
出来ていた。休憩後、一気に下山し、縞枯山荘・ロープウェイ山頂に到着した。この時間になると  
ロープウェイからくる客はスキー屋ばかりであった。最後に皆で記念撮影を行い、ロープウェイ  
で山麓駅に到着した。

先週も行った縄文の湯で汗を流し、双葉SAにて食事を取り一気に千葉に向かった。首都高の  
調布あたりから渋滞表示も出ていたが、思ったほど込まなく着いたのは何よりであった。4週続け  
て山行・報告書もあり疲れ気味である。ひと踏ん張りし来週も山行頑張るぞと活を入れた。

(ロープウェイ山頂)



(坪庭から縞枯山)



(縞枯山荘)



(縞枯山に向かう登山道)



(縞枯山下山途中の樹氷)



(下山後の坪庭のスキー屋)



以上